

# 東京農業大学稲花小学校

## 学校だより【11月6日】第29号



### 英語でハロウィーン

農大稲花小の子どもたちは、10月30日(水)、一日早いハロウィーンを英語の時間に楽しみました。二人の英語講師のコスチュームは本格的です。



ゴーストバスターズに扮した先生に、子どもたちは大喜び。子どもたちも、手作りのマスクで、英語のハロウィーンを体験しました。授業中ですが、この日は特別。「トリック オア トリート」で小さいお菓子を一つだけもらって、美味しく味わっていました。

今週は大分県からも、農大稲花小の英語の授業見学があり、子どもたちの英語力を見ていただきました。

### 入学試験が行われました

11月1, 2, 3日に、農大稲花小学校の2020年度入学試験(前期)が行われました。緊張した表情あり、楽しそうな表情あり…と様々でしたが、受験生の子どもたちは、元気に、ペーパーテストと行動観察に臨みました。試験が終わると、子どもたちは待っていた保護者のもとにまっしぐらに戻ってきます。親子でしっかり手をつないで帰路につく皆さんを、お疲れ様、よく頑張りましたね、とお見送りしました。

11月5日(火)に、合格発表がWebシステム「miraicompass」で行われました。なお、11月9, 10日には入学試験(後期)が実施されます。急に寒くなった今日この頃、後期を受験される皆さんには、体調を整えて受験の日を迎えてください。

### 収穫祭もにぎやかに

農大稲花小が入学試験だった11月1, 2, 3日、東京農大では学園祭「収穫祭」が行われていました。東京農大の収穫祭は、模擬店や様々なイベントだけではなく、学生たちの研究発表である文化学術展が行われることが大きな特色です。また、連携している市町村などからの出店もありました。ご家族と収穫祭を楽しんだ稲花小学校の子どもたちは、「劇を

見ました」,「バナナの木が飾ってありました(バナナは草ですけれども)」と教えてくれます。いつも通る大学の正門が、竹などで装飾されているのも珍しく思えたようです。「竹はどこで採ってきたのかな? 買ったんじゃない?」{大学生が本当に作ったの? }という質問も出ました。



東京農業大学 地域環境科学部造園科学科の学生手作りの正門装飾

3日間で86,000人近い来学者があった収穫祭, その中に農大稲花小のまだ小さな子どもたちが興味津々で参加していたわけですね。

校長 夏秋 啓子